



高瀬 かつおる

たかせ

国分寺・生活者ネットワーク 市議会議員



<https://takase.seikatsusha.me/>



国分寺・生活者ネットワークと高瀬かつおるの活動を紹介します

3期12年、国分寺市議会のなかで、子育てや介護、環境などの問題に全力で取り組んできました。

3年におよぶコロナ感染症は私たちの暮らしを大きく変えました。

人と会うこともできない生活は、孤立しがちな女性や若者、障がいのある人など弱い立場の人々への影響が大きく、分断がすすみました。

一方、地域ではみんなを元気にしようと、様々な市民の活動が始まっています。

市政と市民をつなぎ、市民活動への支援を充実し、暮らしや心の豊かさを実感できる社会へと、希望をもって自分らしく暮らせる社会に変えていきたい！

「誰ひとり取り残さない、孤立させない」まちの実現に向けて、私は4期目に挑戦します。

高瀬 かつおる



▶国分寺駅北口駅前ひろばのシンボルツリーのケヤキとともに。北口ひろばは、市民の意見をもとに武蔵野の雑木林の変遷の植栽になっています。ベンチも配置され訪れる市民がホッとできる場になっています。

◀ひとり暮らし高齢者が増えています。社会から孤立させず認知症になっても安心なまちづくりをすすめます。同時に、生きるための支えとなる介護保険制度を機能させ持続する必要があると。

高瀬かつおるプロフィール

- 1961大阪府松原市生まれ ■1978国分寺市に転入 ■1984東京音楽大学（音楽教育専攻）卒業（株）宮地楽器入社
- 1989～生活クラブ生協加入 生活クラブ生協国分寺支部委員長 多摩きた生活クラブ生協理事 国分寺市私立幼稚園連合父母の会役員 国分寺市立小・中学校PTA連合会研修委員 ■2003 国分寺・生活者ネットワーク代表 ■2005デポ一國分寺・フロアワーカースメンバー ■2008野川流域連絡会委員 ■2011国分寺市議会議員初当選（現在3期目） ■2016国分寺市民防災推進委員 ■2021～建設環境委員会（副委員長） 公共施設等総合管理特別委員会
- 趣味：音楽鑑賞、まち歩き ●新町2丁目在住



高瀬かつおるさんを応援します

皆川満寿美

中央学院大学准教授

女性なら誰でもいいわけではありません！女性のエンパワーメント、男女平等、ジェンダー主流化（男女共同参画）を高く掲げる「わきまえない女たち」のローカルパーティとしてとても期待しています。



鏡 諭

法政大学大学院 兼任講師

内山 節

哲学者

山田正彦

弁護士・元農林水産大臣

天笠啓介

ジャーナリスト

福嶋浩彦

中央学院大学教授・元我孫子市長

山田 真

小児科医

瀬戸大作

反貧困ネットワーク事務局長

三木由希子

情報公開クリアリングハウス理事長

橋本淳司

水ジャーナリスト

鈴木礼子

社会福祉法人 悠遊理事長

増田和美

生活クラブ生協 東京理事長

岩永やす代

都議会議員

山内れい子

前都議会議員

大西ゆき子

元都議会議員

池田あつ子

元都議会議員

秋本あすか

元市議会議員

都政・市政をつなぎます



岩永やす代



◎介護される人も介護する人も安心して暮らせる体制を整えます

◎国分寺の水と緑、農を守り、野川の親水化整備を実現します

1. 高齢になっても障がいがあっても暮らしやすい国分寺

- 24時間対応できる在宅介護・在宅医療のしくみを強化
- 介護予防・生活支援を地域で機能させる
- 認知症になっても安心して暮らせる地域づくり
- 障がい者の就労支援、生活支援の充実
- 介護する人の人生を応援するケアラー支援条例をつくる
- 利用しやすい移動支援や買い物支援
- 住まいの確保が困難な人への相談・支援体制づくり

2. 子どもたちがのびのびと育つ国分寺

- 産前産後の支援から子育てを孤立させない支援体制の充実
- 貧困による教育格差をなくすためのサポート
- 子どもの権利条例の制定
- 子ども・若者のアイデアをまちづくりにいかす

国分寺・生活者ネットワークと高瀬かおるの提案

ひとりにしない子育て・介護
～支え合い分かちあう地域共生社会へ

3. 一人ひとりが大切にされる国分寺

- 多様性を認め合い、性別で差別されない社会へ
- 憲法をまもり、地域から人権・平和を発信
- 災害時にたすけあえるコミュニティづくりをすすめる

4. 緑と水を守り安心して暮らせる環境の国分寺

- 地産地消で安心・安全な学校給食の提供と無償化をめざす
- 国分寺崖線、砂川用水など水と緑を守り、野川の国分寺部分の親水化整備を実現
- ごみの発生抑制と再使用を推進し循環型社会へ
- 「香り」や有害化学物質に関する周知
- 脱原発！原発の再稼働に反対。省エネルギーと再生可能エネルギーをすすめる
- 生物多様性地域戦略をつくる
- 気候変動への対策を市民、事業者、行政の三者協働ですすめる

5. 大事なことは市民が決める国分寺

- 公共施設の整備は市民の意見を反映し使いやすいものに
- 情報をわかりやすく公開し、政策決定過程に子どもや若者を含め幅広い市民参加を促進
- 市の財政運営をチェックし、かゆいところに手の届く予算配分

高瀬かおるが実現してきたこと

- 「国分寺市グリーン購入ガイドライン」に純石けん使用を明示。公共施設にポスター掲示。
- 生ごみたい肥化事業の推進と廃食用油の回収。せんてい枝の資源化。
- 「香り」の害から健康を守るための啓発。
- 生活困窮者自立促進支援に任意事業の「家計改善支援」の導入と「学習支援」の拡充。
- 2050年カーボンニュートラルの実現に向け、「地球温暖化防止行動計画（市域版）」策定を提案。基礎調査がスタート。
- ヤングケアラーについての理解を深め、支援につなげるため、講演会や関係機関、専門職員、民間団体向けの研修・講座等を実施。
- 認知症の人を地域でサポートするための「認知症模擬訓練」を提案し、事業に反映。
- 災害に備え、簡易テントを備蓄。
- 障がいがあってもなくてもいっしょに遊べるインクルーシブ公園の整備を提案し、現在進行中。
- 農福連携を推進。
- 福祉の総合相談窓口の設置。
- 提案型協働事業の推進。
- cocobunji プラザのトイレにユニバーサルシートの設置。

高瀬かおる 活動のひとコマ



国分寺でも地下水への有機フッ素化合物(PFAS)汚染が問題となっています。湧水・地下水が潤沢な国分寺として東京都や近隣自治体と連携し状況把握とともに対応策を求めました。



コナラやクヌギが枯れる「ナラ枯れ」が市内の樹林地や公園でも深刻になっています。対策と緑の確保に向けて樹林地を適切に管理することを提案しました。



高齢になっても障がいがあっても誰もが住みたい場所で暮らすためには、自治体に相談機能も兼ね備えた居住支援協議会が必要です。2019年に議会質問しました。その後、市民グループの活動に参加しながら具体的な提案を続けています。市内で市民団体が居住支援フォーラムを開催。市内の高齢者や障がい者を支援する活動団体、不動産業の方もパネラーとして参加しました。

生活者ネットワークは市民が立ち上げた政治団体です。毎年、市民の声を集めて政策をつくり、市や都に予算要望として提案しています。